

# 大田区立石川台中学校改築事業基本構想及び基本計画 説明会

令和 6 年 2 月 19 日（月）19 時～20 時

大田区教育委員会

大田区

# 次第

- 1 開会挨拶  
大田区教育委員会事務局 教育施設担当課長 田中 佑典  
大田区立石川台中学校長 小菅 みちる
- 2 出席者紹介
- 3 内容説明  
1 基本構想・基本計画の策定に至る背景  
2 コンセプト・施設整備方針  
3 改築の主な基本的前提条件  
4 現状の配置及び改築後の配置案  
5 スケジュール案及び工事ステップ  
6 新校舎のゾーニング案
- 4 質疑応答

## 1 基本構想・基本計画の策定に至る背景

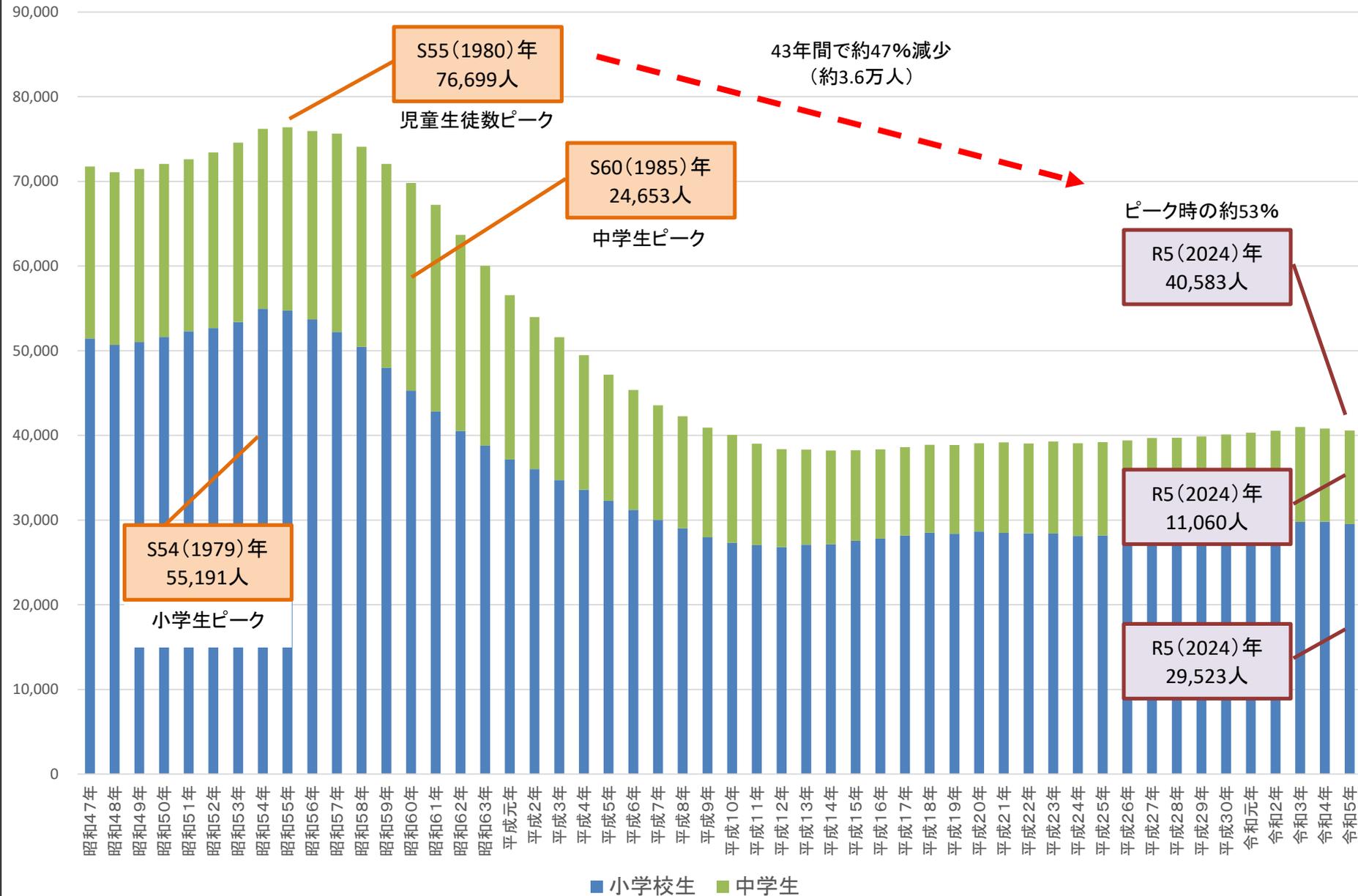
大田区では、高度経済成長期の人口に合わせて、学校や公共施設等のインフラ整備を行ってきました。区の学校施設も児童・生徒数が急増した昭和30年代後半から40年代にかけて整備されたものが多く、全ての学校で耐震補強工事は完了しているものの、老朽化が進行しています。今後は改築等の費用増大が見込まれることから、児童・生徒の安全性を確保しつつ、教育環境の維持・向上を目指し、計画的に施設整備に取り組んできました。

石川台中学校は、校舎の大半が築50年以上経過するなど老朽化が進んでいることから、改築校として選定しました。

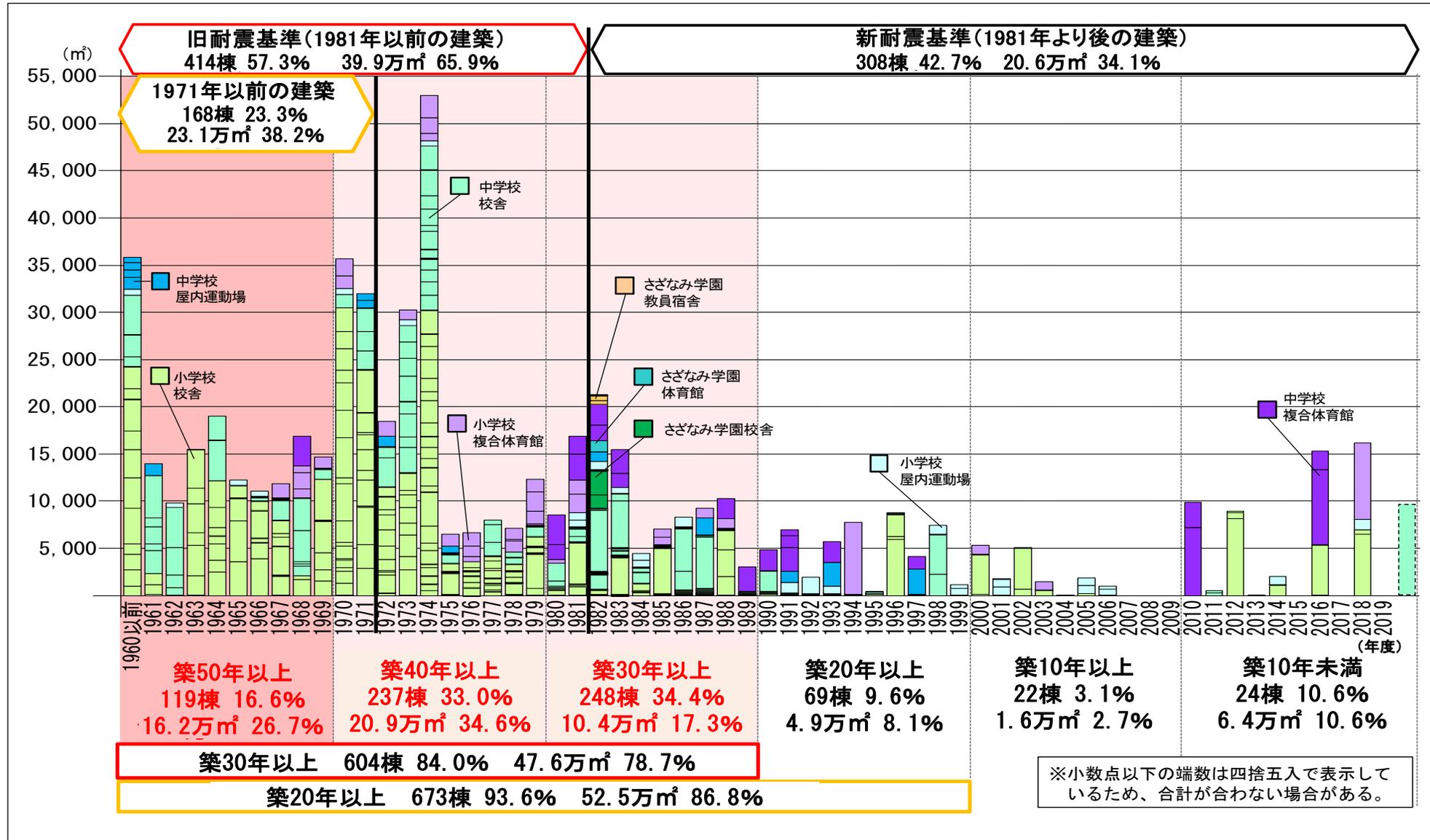
### ～基本構想・基本計画策定にあたって～

学校改築の基本的な考え方をまとめるため、大田区では令和5年度より「石川台中学校学校改築懇談会」を設置し、具体的な検討に着手しました。教育委員会では、大田区の上位構想や石川台中学校の教育目標の内容を踏まえ、学校改築懇談会における意見交換、アンケート及び生徒ヒアリング等の活用により基本構想・基本計画の策定に向けて様々な協議・検討を行ってまいりました。

# 児童数・生徒数の推移



# 参考【図表 築年別整備状況】



# 学校改築懇談会の開催

## ＜スケジュール及び各回の議題＞

### ■第1回学校改築懇談会（令和5年6月1日）

- ・学校改築懇談会の発足について
- ・学校施設の更新について
- ・区内の公共施設について
- ・石川台中学校の概要について
- ・基本構想・基本計画策定及び学校改築懇談会スケジュールについて
- ・アンケートの実施概要について

### ■第2回学校改築懇談会（令和5年8月1日）

- ・アンケート結果の報告
- ・コンセプト案の作成について
- ・体育館の整備について

## 第二回「石川台中学校 学校改築懇談会」を開催しました

令和5年8月1日に、第二回学校改築懇談会が石川台中学校にて行われました。6月末から8月にかけて実施したアンケート結果（生徒・教職員・保護者の皆様）のご報告、これを受けた改築に当たって議題となりました。

実施日時：令和5年8月1日（火）  
18時30分から19時30分  
場 所：石川台中学校 視聴覚室

### 次第

- ①開会挨拶（教育施設担当課長）
- ②アンケート結果の報告
- ③コンセプト案の作成について
- ④体育館の整備について
- ⑤第1回学校改築懇談会の開催報告について
- ⑥質疑応答
- ⑦閉会の挨拶（学校長）

のは何ですか？  
る居心地がよい学校  
先端の学校  
交流も促される学校 等

ていきたいですか？  
年を超えた縦の繋がりやアットホーム感  
ア活動など地域行事への参加 等

?  
ナー ・展示、発表コーナー  
交流できる談話コーナー  
約システム

ー感のある建物としてほしい  
くりをしてほしい  
もを受け入れられる施設としてほしい  
運動場について配慮してほしい  
しい 等のご意見をいただきました。  
区HP上にご覧いただけます。➡



## 第一回「石川台中学校 学校改築懇談会」を開催しました

大田区では、区立小中学校の約半数が築40年以上経過した校舎を有しており、計画的な学校改築が課題となっています。石川台中学校は、令和4年度に改築着手校として選定され、令和8年度頃からの着工を目指して改築事業を進めています。今年度「基本構想・基本計画」の策定にあたり、新しい学校をどんな学校としていきたいか、関係者の意見を広く伺うことを目的として「石川台中学校 学校改築懇談会」を設置しました。委員の皆様から様々なご意見をいただきながら、新しい学校づくりを進めるとともに、この開催報告を通じて生徒・保護者・先生方・地域の皆様へ広くお知らせしてまいります。



↑ 第一回石川台中学校 学校改築懇談会の様子

実施日時：令和5年6月1日（木）  
18時30分から19時30分  
場 所：石川台中学校 視聴覚室

### 次第

- ①開会挨拶（教育施設担当課長）
- ②学校改築懇談会の発足について
- ③自己紹介
- ④学校施設の更新について
- ⑤区内の公共施設について
- ⑥石川台中学校の概要について
- ⑦基本構想・基本計画策定及び学校改築懇談会スケジュールについて
- ⑧アンケートの実施概要について
- ⑨質疑応答
- ⑩次回日程
- ⑪閉会の挨拶（学校長）

**学校改築懇談会の発足について**  
【目的】：新しい学校のあり方や機能について多くの方から意見を募り、地域とともにある学校づくりを推進するため。  
【構成】：校長及び副校長、PTA代表、地域代表、大田区教育委員会、改築支援事業者ほか

**学校施設の更新について**  
・大田区では、高度経済成長期の人口増加にあわせて学校や公共施設等の整備を行ってきました。  
学校は、児童・生徒が急増した昭和30年代後半から40年代に整備されたものが多く、約6割が旧耐震基準での建築となり、老朽化が進行しています。  
・令和元年（2019年）に策定した「おおた教育ビジョン」を基に「豊かな人間性をほぐくみ、未来を創る力を育てる」ことをテーマとした教育施策を推進しています。

- 学校施設の目指すべき姿**
- ①安全・安心な施設環境の確保  
(適切な維持管理、セキュリティ強化、バリアフリー化)
  - ②時代のニーズに合わせた教育環境の向上  
(ICT・少人数教育への対応、特別支援教育の充実、環境負荷の低減、健康等への配慮)
  - ③地域拠点としての一面を持つ学校施設  
(避難所としての機能強化、地域との連携・協働、地域コミュニティづくりへの貢献)

**区内の公共施設について**  
・公共施設全体のうち、学校教育系施設の面積割合は**50.1%**  
・築40年以上経過した施設は全体の**53%**  
**公共施設の適正化に向けて**  
**〔「大田区公共施設等総合管理計画」より抜粋〕**  
目標：効果的・効率的な施設マネジメントによる区民サービスの維持・向上の実現



↑ 出展「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」最終報告別添（文部科学省）

第四回「石川台中学校 学校改築懇談会」を開催しました

令和5年12月7日に、第四回学校改築懇談会が石川台中学校にて行われました。コンセプト及び施設整備方針のご報告(一部変更)、新校舎の配置計画、記念品等に関することが議題となりました。

# 学校改築懇談会の開催

## ■ 第3回学校改築懇談会 (令和5年10月13日)

- ・アンケート及び生徒ヒアリング結果の報告
- ・コンセプト及び施設整備方針(案)の報告
- ・配置、ゾーニング比較検討及び整備ステップについて

## ■ 第4回学校改築懇談会 (令和5年12月7日)

- ・コンセプト及び施設整備方針の報告(一部変更)
- ・配置計画の提案について
- ・記念品等に関する報告

## ■ 第5回学校改築懇談会 (令和6年1月24日)

- ・基本構想及び基本計画(案)の最終確認

大田区立石川台中学校 学校改築懇談会 開催報告 vol.3 2023年(令和5年)12月 発行:大田区教育委員会

・配置、ゾーニング比較検討、整備ステップについて  
改築後の配置計画について、計画条件を前提として4つの案をお示しした上で、各案の良い点、気になる点、改築を通して配慮すべき点等について意見を出し合いました。

・参考:既存校舎

・計画条件

- 工期短縮を前提として、学校を運営しながら敷地内で建て替えを行う(全ての建物を対象とする)
- 工事中に体育館、給食室が使えない期間がないように工事ステップを計画する
- 新校舎には、校舎・体育館・武道場・屋上プールを整備する
- 用途地域(第一種低層住居専用品地域)の指定により、建物高さの最高限度は12m(認定もしくは許可取得が条件)但し、敷地北端は斜線制限があり、北側斜線は高さ12m以下としなければならない
- 敷地内は「大田区開発技術要綱」「香川緑道線整備計画」により多量の整備が必要
- シンボルとなっているけやきの木は、残存の位置に残すことできない(移樹について調査中)
- 校園は可能な限り整飾とし、両側校庭以上の広さを確保する
- 2日 Readyの省エネルギー性能を確保することを目標とする

・主な質疑応答、ご意見

Q: 身近に緑を感じられる環境が石川台中のアットホームな雰囲気を作り出していると思われるため、コンセプトや施設整備方針の中に緑に関するワードがもう少し必要ではないか。  
A: 「彩り豊か」という部分に緑に関する内容も含めて考えており、移植可能な木については移植を検討していく。

Q: コンクリートの打放しよりも、木材を利用した校舎が望ましいのではないかと。  
A: 木材を利用した校舎づくりを想定している。

Q: 体育館と武道場を重層化して、制限を超えないよう高さ12m以下とすることはできないか。  
A: 一区の基準として定めている体育館・武道場の天井高さを考慮すると制限の12mを超えてしまうため不可である。

Q: プール使用不可期間はどれくらいか。工事中の校庭が狭くなる案を採用した場合は、どこかに移動するのか。  
A: 防災倉庫は体育館と同じフロアになるか。  
A: 一案により異なるが、基本的には近隣校等のプールを、グラウンドも近隣校や河川敷を借用することが考えられる。防災倉庫は、避難所となりうる体育館付近で同フロアに設置することが多い。

ご不明な点やご意見については、下記担当までご連絡ください。  
問合せ先: 大田区教育委員会事務局 教育総務課 施設担当 TEL 03-5744-1399 mail: t-kyouiku@city.ota.tokyo.jp

実施日時: 令和5年12月7日(木) 18時00分から19時00分  
場 所: 石川台中学校 視聴覚室

質疑応答

(案)について、一部文言の変更をご報告するとともに、施設整備方針をもとに具体的に説明しました。(裏面参照)

□コンセプト(変更後)

石川台中学校の伝統と学年を超えたあたたかみ響き、多様性を受容するアットホームな学び舎  
～「言葉の力」「感性」「未来を切り拓く力」を育む、新しい時代にふさわしい彩り豊かな学びの空間の実現～

空間づくり  
すい場所に配置  
ま先生ゆかりの

文部科学省:新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方(5つの要の方針)より引用

環境:香川緑道線に接する豊かな周辺環境調和し、省エネルギー化を目指した施設づくり  
-周辺環境と調和し、「緑豊かな学校」というイメージを継承する周辺、屋上緑化計画

安全:防犯や防災に配慮し、誰もが利用しやすい安心安全な施設づくり  
-水害時にも避難所として利用可能な防災機能の整備

パネル、表彰状、パネルアート、オリンピック関連等)や記念樹類(けやき)年記念「けやきの子」像等)のご報告を行いました。

きました。

例:ダイヤアート(校歌)  
例:校歌(体育館)  
例:宇宙けやき

# アンケート実施例

## 「大田区立石川台中学校改築事業」に関するアンケートのお願い

生まれ変わる学校の計画にあたり、新しい校舎のコンセプトを検討しています。また、石川台中学校が培ってきた国語教育の推進をはじめとし、各教科の学習効果を上げるための学校図書館機能や、ICT活用による教育環境の充実に力を入れたいと考えています。つきましては、生徒の皆さまのご意見を参考とさせていただくため、以下のアンケートへのご協力をお願いいたします。

Google にログインすると作業内容を保存できます。詳細

\* 必須の質問です

質問1 昼休みをよく過ごしている場所はどこですか？また、何をしてお過ごしていますか？  
あてはまるもの3つを選んでください。

- 自分の教室で自習(予習・復習・宿題)をしている
- 自分の教室で読書をしている
- 自分の教室でおしゃべりしている
- 図書室で自習(予習・復習・宿題)をしている
- 図書室で読書をしている
- 校庭で運動・スポーツをしている
- 校庭の池のそばでおしゃべりしている
- 教室前の廊下でおしゃべりしている
- 昇降口前でおしゃべりしている
- その他: \_\_\_\_\_

生徒用アンケート入力画面

「大田区立石川台中学校改築事業」に関するアンケートのお願い

令和5年7月

石川台中学校の改築計画にあたり、校舎建設に関するコンセプトを検討しています。石川台中学校が培ってきた国語教育の推進をはじめとし、各教科の学習効果を上げるための学校図書館機能や、ICT活用による教育環境の充実に力を入れたいと考えています。つきましては、地域の皆さまのご意見を参考とするためアンケートを実施させていただきます。お手数ですが、以下の質問にお答えください。

質問1 大田区立石川台中学校とのご自身の関わりについてあてはまるものに○を付けてください。(複数回答可)

- ① ( ) ご自身が卒業生である
- ② ( ) お子様や孫が卒業生である
- ③ ( ) お子様や孫が今(令和5年6月現在)通っている
- ④ ( ) 将来、子どもや孫が通う予定、または通う可能性がある
- ⑤ ( ) 学校での地域活動に参加している
- ⑥ ( ) 近隣での地域活動に参加している
- ⑦ ( ) 現在、直接的な関わりは特にないが、近隣に住んでおり、改築に興味がある
- ⑧ ( ) 特に関わりはない

質問2 ご自身の年代を教えてください。

- ① ( ) 10代 ② ( ) 20代 ③ ( ) 30代 ④ ( ) 40代
- ⑤ ( ) 50代 ⑥ ( ) 60代 ⑦ ( ) 70代 ⑧ ( ) 80代以上

質問3 地域と学校の連携を深める方法として、特に期待できるものは何ですか？あてはまる項目3つに○をつけてください。※計画のコンセプト検討の参考とさせていただきます。必ずしも採用・実現されるものではありません。

- ① ( ) 石中フェスティバルなどのイベント開催(具体的にあれば、 )
- ② ( ) 地域を含めた避難訓練、避難所設営や炊き出しなど
- ③ ( ) 現在も行っているスクールサポート石川台を中心とした活動の拡充(花壇整備、補習教室や自習教室への講師・学生の紹介、職業体験先の紹介等)
- ④ ( ) 誰もが休憩できるベンチなどの設置
- ⑤ ( ) 体育館などでの講演会や発表会
- ⑥ ( ) 学校祭での地域ブースの設置
- ⑦ ( ) 学校の地域開放(具体的な場所は、 )
- ⑧ ( ) その他 ( )

(裏面へ)

アンケート用紙(紙回答用)

アンケート及び生徒ヒアリングの実施結果 一部抜粋

保護者向けアンケート

回答者数:103名

<質問3> 石川台中学校の良いところや新しい学校に継承したい特徴、特色ある活動などはありますか？

分類		回答	回答数
植栽・自然	自然豊か	石中の魅力のひとつである、豊かな自然は継承してほしい。	8
		緑が多い	
		校庭の木や花壇が整備され、呑川沿いの桜もあり自然を感じることができる	
		自然が豊かで、開放感のある校庭。	
		緑や池、花があるところ	
		学校の周りの植栽を楽しませてもらってます。呑川の桜も綺麗ですし、そこは継承して欲しいです。	
		植栽がたくさんある	
	緑や植物が多い校庭や外周の雰囲気		
	実のなる木	果物が成る樹木があるのはいいと思います。	2
		学校の敷地内に、実がなる木がたくさんあるところ。切らずに残してほしい。	
	櫟の木	1	
小規模校	先生と生徒の距離	先生と生徒の距離が近い	12
		生徒と先生の距離が近い	
		小規模で、先生方が生徒1人ひとりを把握して下さっているところです。	
		少人数校ならではの、生徒個人への目が行き届いた教育。	
		生徒と先生との距離が近く感じます。校長先生を始め、先生方が生徒の名前を覚えて下さり、保護者に対しても、子供の学校での様子話を気さくに話しかけて下さるのが、とても温かく嬉しく感じます。子供達も同じように感じていると思います。信頼感も生まれ、安心してお任せしています。	
		まだ1年なので、始まったばかりですが先生方の対応は親切だと感じます。	
		程よい生徒数で、先生方が生徒達としっかり向き合っていること。	
		先生と生徒の距離が近いところ	
		先生と生徒の距離が近いところ	
		充実した生徒と教諭の方々とのコミュニケーション	
		先生と生徒の垣根が高くない所。	
	少ない生徒数なので先生の目が行き届く所		
	異学年交流	生徒数が少ないからこそ出来る学年を超えた交流。	4
		小規模校ならではの縦の繋がりやアットホーム感	
少人数で子供も大体の学年の顔や名前など知っていて良い。			
	学年を超えて仲が良い所。		

生徒ヒアリング

■新しい学校にあると良いもの

- ・一学年収容可能な大きさの教室がほしい
- ・生徒会室に空調設備を設けたい
- ・プールまでの動線は、外履きに履き替えが不要な計画にしてほしい
- ・楽器の移動を考慮して、体育館と音楽室は近接させたい
- ・体育倉庫は体育館の近くにし、校庭の面積をできるだけ多く確保したい
- ・池はなくなってもよい
- ・雨の日に集まれる屋根付きの外部空間(ピロティ)がほしい
- ・校舎裏に余分なスペースが多いので敷地を最大限有効活用してほしい
- ・校庭から見やすい位置に時計を掲示したい
- ・部活動の利便性を向上するために、テニスコートを独立させてほしい
- ・体育館の下部に教室を作るのも一つの案として良さそう

■新しい図書館にあるといいもの

- ・上履きを脱いで過ごすスペースがほしい
- ・机の高さは、低い方が読みやすい

■石川台中に残したいもの・雰囲気

- ・上下関係が少ない
- ・廊下が直線なため教室配置が明快で移動しやすい

## 2 コンセプト・施設整備方針

石川台中学校の歴史、特徴、教育目標や大田区の上位構想等のその他計画と整合性をとりながら、学校改築懇談会及びアンケートで寄せられた新しい石川台中学校へのご意見をもとに、コンセプトを作成するためのキーワードを抽出しました。

さらに、抽出したキーワードを学校改築懇談会での意見交換を通じて整理し、コンセプト及びその実現に向けた施設整備方針を策定しました。

### <石川台中学校の特徴> (学校要覧より抜粋)

- ・小規模校のよさを活かした学習や異学年交流
- ・「読解力を向上させる指導の工夫」への取り組み
- ・三人行事と四大ボランティア
- ・スクールサポート石川台などの活動

### <石川台中学校の教育目標>

- 「思考力に富む生徒」
- 「実行力のある生徒」
- 「情操の豊かな生徒」

### <未来の石川台中学校に求められているもの> (アンケート結果より)

- ・落ち着いて学習できる環境
- ・学年分け隔てなく交流できる場所
- ・自然を感じながら過ごせる場所
- ・衛生的なトイレやプール
- ・最先端の教育ができる環境
- ・防犯や事故防止への配慮
- ・リラックスして過ごせる場所
- ・十分な広さの校庭や体育館

### <区の整備指針>

- ・学校や地域の特色を活かし、地域とともにある学校づくりを目指す
- ・石川台中学校が培ってきた国語教育の推進をはじめとし、各教科の学習効果を上げるための学校図書館機能や、ICT活用による教育環境の充実に力を入れる

キーワード

## 学校規模

「異学年交流」「あたたかい繋がり」「小さな学校」「コンパクト」「アットホームな学校」  
「スモール・スクール」「リビング・スクール」「家」「僕たち・私たちの学び舎」

## 特別支援学級への対応

「多様性ある子ども達」「ノーマライゼーション」「だれでも・だれにでも」「すべての子ども達（生徒）」  
「共に育つ」「受け入れる（受容）」

## 国語教育の充実

「歴史」「伝統」「和」「言語力」「ことば」

## 図書館機能の充実

「スクールライブラリー」「ラーニング・コモンズ」「メディアセンター」「まなび」

## 思考力・実行力・情操の豊かさ

「思考力」「創造性」「育む」「生きる力」「成長」「アクティブ・ラーニング」「自ら学ぶ」「豊かな空間」

## 安心・安全

「安心安全」「防災」「防犯」「衛生的」

## 環境・地域

「呑川」「調布地区」「彩り豊かな自然」「ZEB」「持続可能」「サステイナブル」「SDGs」  
「コミュニティー」「地域」

## コンセプト

石川台中学校の伝統と学年を超えたあたたかい繋がりを尊び、  
多様性を受容するアットホームな学び舎  
～「言葉の力」「感性」「未来を切り拓く力」を育む、  
新しい時代にふさわしい彩り豊かな学びの空間の実現～

## 施設整備方針

学び：国語教育や学校図書館を中心に学習意欲を刺激する空間づくり  
生活：心身ともに豊かな3年間を過ごせる心地良い空間づくり  
共創：誰もが「共に育つ」ことができる多様な学びの空間づくり  
安全：防犯や防災に配慮し、誰もが利用しやすく安心安全な施設づくり  
環境：呑川緑道軸に接する豊かな周辺環境に調和し、  
省エネルギー化を目指した施設づくり

### 3 改築の主な基本的前提条件

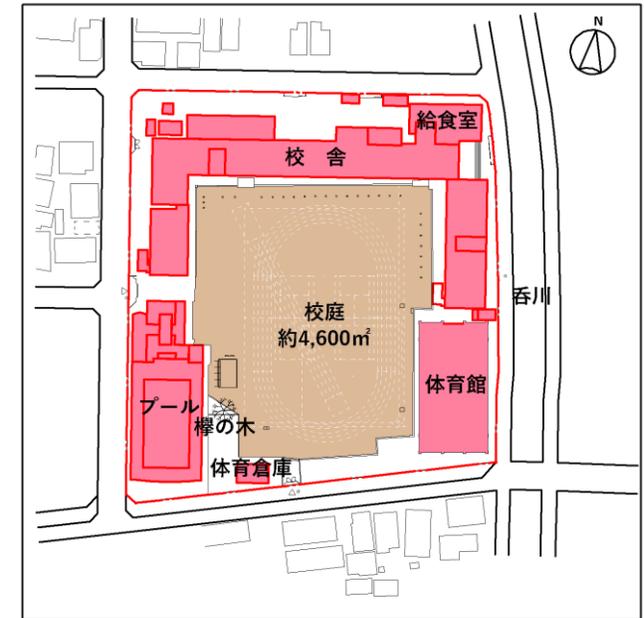
- ①工期短縮を前提とした上で、学校を運営しながら敷地内での建て替えを行う。  
(全ての建物を対象とする)
- ②工事中に体育館、給食室が使えない期間がないように工事ステップを計画する。
- ③改築後の校庭は、可能な限り整形とし、既存校庭以上の広さを確保する。

## 4 現状の配置及び改築後の配置案

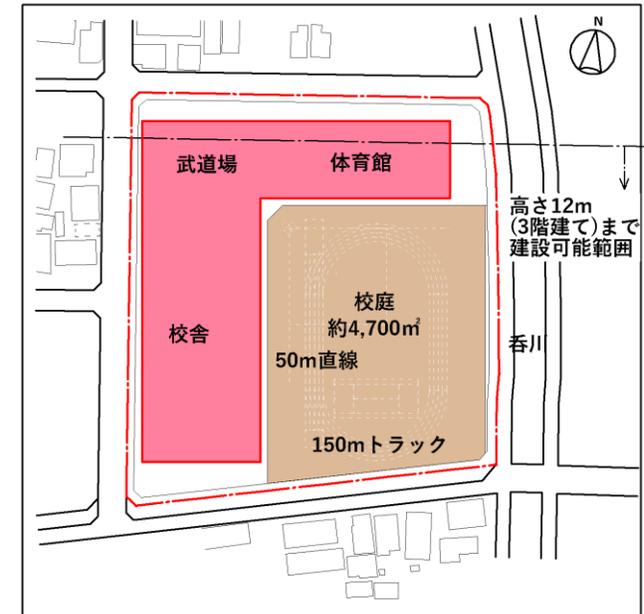
「3 改築の主な基本的前提条件」を踏まえ、「校庭の広さや日当たり」「周辺への影響」「防災」「工事ステップ」等様々な視点から複数の案を検討・比較し、配置案を選定しました。選定に至った主な理由は以下のとおりです。

- ① 改築に係るコンセプト・施設整備方針及びゾーニング計画を最も効果的・効率的に反映し施設整備できる配置である。
- ② 仮設校舎が不要であり、早期に新校舎の運用開始が可能のため、教育環境の低減を抑えることができる。
- ③ 改築期間中を通して、最も広く仮設校庭を確保することが可能であり、教育環境の低減を抑えることができる。
- ④ 工事期間が最も短く、短期間での整備が可能である。
- ⑤ 避難所となる体育館を水害時にも利用可能となるよう整備できる。
- ⑥ 仮設校舎や仮設備品類の賃借料及び仮設校舎への引越費用が不要となり、大幅なコスト抑制ができる。

現状の  
配置図

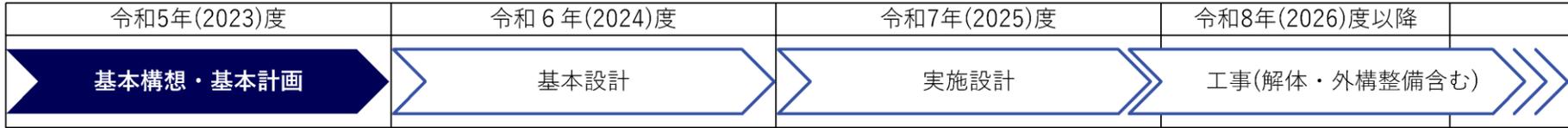


改築後の  
配置案



	(案1) 西側配置	(案2) 北側配置
校庭の大きさ	整形部分を既存と同程度確保できる	整形部分を既存と同程度確保できる
校庭の日当たり	校舎の影が校庭に影響し難い	校舎の影が校庭に影響し難い
周辺への影響	西側の周辺住宅に対して校舎が現況より近くなる	西側の周辺住宅に対して校舎が現況より近くなる
防災	避難所となる体育館が呑川に近い配置となるが、嵩上げなどの対策で水害時にも利用できる	避難所となる体育館を呑川から離れた西側に配置でき、嵩上げなどの対策で水害時にも利用できる
工事ステップ	校舎が先行完成するため、新校舎の利用開始時期が早い	新校舎を一度に建設することができるが、利用開始時期は遅くなる
	仮設校舎が不要であり、工事中の校庭が広く確保できる	仮設校舎を建設し一度に新校舎を建設するため、工事中の校庭が狭くなる
	新校舎と既存体育館が離れており、工事ステップ③～④では渡り廊下が必要	仮設校舎と既存体育館が近いため、工事中も利用しやすい
コスト	仮設校舎が不要であり、賃貸借費分を抑えることができる	仮設校舎の賃貸借費分がコストアップとなる
	(案3) 南側配置	(案4) 東側配置
校庭の大きさ	専用のテニスコートが出来るが、校庭の整形な部分は既存より狭くなる	整形部分を既存と同程度確保できる
校庭の日当たり	校庭に校舎の日影が生じる	朝日は期待できないが、校舎の影が校庭に影響し難い
周辺への影響	西側の周辺住宅に対して校舎が現況より近くなり、南側の周辺住宅に対しては校舎の全面が対面する形になる	校舎が呑川沿いとなり、周辺への影響は軽減される
防災	避難所となる体育館を呑川から離れた西側に配置でき、嵩上げなどの対策で水害時にも利用できる	校舎が呑川沿いとなり、水害のリスクが懸念される
工事ステップ	校舎が先行完成するため、新校舎の利用開始時期が早い	新校舎を一度に建設することができるが、利用開始時期は遅くなる
	仮設校舎が不要であり、工事中の校庭が広く確保できる	仮設校舎及び仮設体育館を建設し一度に新校舎を建設するため、工事中の校庭が狭くなる
	新校舎と既存体育館が近いため、工事中(ステップ③～④)も利用しやすい	仮設校舎と仮設体育館が近いため、工事中も利用しやすい
コスト	仮設校舎が不要であり、賃貸借費分を抑えることができる	仮設校舎・仮設体育館の賃貸借費分がコストアップとなる

# 5 スケジュール案及び工事ステップ



※本資料における「スケジュール案」については、現時点で予定しているものであり、今後の基本設計・実施設計における詳細な検討に伴い、変更する可能性があります。

